

民主党埼玉県第1区総支部



御
年
賀

衆議院議員

たけまさ公一 国会レポート

平成19年 第61号

Koichi Takemasa



目次

2007 たけまさの決意！

5年間でこれだけの負担増！

財政破綻した夕張市を訪問

(十二月二十五日・民主党夕張市調査団)

Koichi Takemasa Information

日々ブログ更新中！たけまさ公一のサイトへお越しく下さい

<http://www.takemasa.org>

携帯版のアドレスはこちら

<http://www.takemasa.org/i>

皆様のご意見をお待ちしています

voice@takemasa.org

2007 たけまさの決意！

自民党公明党(無責任無原則)政権への対立軸・対抗軸を示す

1、天下り、官製談合は認めない

政府与党の国家公務員天下り規制撤廃は認めず、地方公務員天下り規制も法制化を。

2、マニフェスト(政権公約)選挙を国も地方も実行

参議院選挙のマニフェストとともに、47 都道府県の地方選挙(埼玉県議会、さいたま市議会等の議会改革を含め)でもローカルマニフェストを作成。

3、NHK 改革とともに放送の独立性を担保

放送や報道の自由は民主主義の基本。3 度目の議員立法の提出とともに NHK 受信料強制徴収には慎重な対応を！

4、地方分権の徹底

税財源移譲とともに、求職情報の都道府県への提供等をメニュー化。

5、独立行政法人改革をさらに力強く推進！

政府の削減策は 5 年間わずか 1900 億円。3,7 兆円の補助金半減案を立案、提出へ。

6、したたかな日本外交を

オール日本の外交力を高める。領土領海を守る。アジア・EU 外交の深化。

7、職業教育の充実

3 度目の議員立法提出を受けてその法制化を実現へ。週 5 日制の検証。

8、政令市さいたまの発展

地下鉄延伸。救急医療モデル圏。見沼百年構想。

5 年間でこれだけの個人負担増！

下記の表は、平成 14 年 10 月から平成 19 年 9 月までの 5 年間で、個人の税負担増を示したものです。5 年間でこれ程の個人税負担が増加しています。

今、政府は約 7 兆円の税収増を受け、法人税減税を行おうとしています。しかし実際は、法人税減税をしても景気浮揚効果はありません。そのことは日銀短観でも明らかです。又、GDP7~9 月期は改定値で下方修正されました。政府は今もって「デフレ脱却宣言」ができません。GDP の 6 割は個人消費です。税収が増えたのなら、個人税減税を行い、個人消費を刺激すべきです。にもかかわらず、来年 6 月には定率減税の全廃と地方への税財源移

議のダブルパンチで、個人負担は大幅に増加することになります。

景気を良くするには法人税減税よりも定率減税の継続を！25 日からの通常国会ではこの点を強く訴えていきます。

平成 14 年 10 月から平成 19 年 9 月までの 5 年間の個人負担増

項 目	負担増加額
雇用保険・医療保険・介護保険・医療費負担	18,596 億
酒税・たばこ税	4,747 億
国民年金保険料・厚生年金保険料	1,400 億
公的年金等控除縮小・老年者控除廃止	3,826 億
配偶者特別控除上乘せ部分廃止	7,344 億
定率減税	3 兆 3,734 億
個人住民税均等割引上げ・非課税限度額の廃止	710 億
合計	8 兆 2,957 億

財政破綻した夕張市を訪問

(12 月 25 日・民主党夕張市調査団)

民主党調査団の副団長として、財政破綻した北海道夕張市を訪問しました。団長は鳩山幹事長です。市の置かれた現状や市民の不安について市長や関係者から説明を受け、意見を交わしました。

市内各所を回った後、市役所にて市長、議長との会談を行いました。市長から「財政再建の基本的枠組み案」の説明、20 年間で 360 億円を返済するため、市職員の半減などの歳出削減策です。質疑では、団長から財政再建案が総務省からの押しつけではないかとの指摘、私からは議会のチェック力を問いましたが、議長からは「やむをえなかった」「理解してほしい」との答えでした。

続いて商工会議所、農民協議会、連合、青年会議所(JC)の代表者との意見交換を行いました。JC 代表者の「市民が主体的に再建計画作成に絡む」という前向きな意見に、会場は盛り上がりました。私からは隣の栗山町のように「議会基本条例」をつくり、市民参加の「一般会議」の開催を提案しました。同行の荒井聰衆議院議員からも国と道の責任を問う指摘、また、メロン以外の適地適作物の提案、とりわけ団長からはワイン栽培の提案がなされました。

記者会見では私から、次期国会開会前に次の内閣総務部専門会議を開き調査団報告を行うことを報告しました。



2007 新春の集い



日時：平成19年1月8日(月)

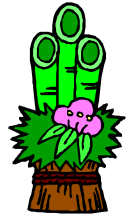
17時受付 18時開会

会場：ラフォーレ清水園

(大宮区東町2-204) TEL 048-643-1234



会費：5,000円



たけまさ公一と行く「国会見学会」

国会議事堂を見学して、議員会館でランチを食べます。午後はNHKなどを見学する予定です。

開催日

2月15日(木)・3月14日(水)

5月15日(火)

集合 当日8時30分
北浦和図書館前

会費 3,500円

上記以外の日程でも、随時受付しております。詳細や不明点などありましたら、下記事務所までお気軽にお問い合わせください。

第63回 たけまさ公一と語る会

テーマ「地方選の焦点」

日時：2月18日(日)14時～16時

会場：さいたま市民会館うらわ 1F
浦和区仲町2-10-22

TEL 048-822-7101

参加費：無料

月一回、たけまさ公一を囲みオープンミーティング形式で勉強会を行っています。年内最後の語る会です。事前の申込みの必要はありませんので、ぜひお気軽にご参加下さい。

上記イベントについてのお問い合わせ、申し込みは…

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

E-mail: voice@takemasa.org …までお願いいたします。



衆議院議員たけまさ公一 プロフィール

.昭和36年(1961年)生まれ。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。平成元年、松下政経塾卒業。平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選。平成17年9月、衆議院議員3期目当選。民主党 NC(=次の内閣)総務(大臣)担当。民主党埼玉県連幹事長。衆議院総務委員会筆頭理事。

たけまさ公一事務所・所在地

浦和事務所	さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル 2F	TEL048-832-3810 FAX048-832-3846
岩槻事務所	さいたま市岩槻区本町5-5-12	TEL048-749-6801 FAX048-749-6802
国会事務所	千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 312号室	TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715